

2024年版 環境経営レポート



発行年月日 2024年 8月 1日

有限会社 郷田組

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営活動への取組の全体概要
6. 環境経営目標
7. 環境経営計画
8. 環境経営目標の実績
9. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組み内容
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
11. 代表者による全体評価と見直しの結果

発行日： 2024年 8月 1日
発行責任者：環境管理責任者 河上 芳夫

次回発行予定： 2025年 8月 頃

1. 組織の概要

【事業所名】 有限会社 郷田組

【代表者氏名】 代表取締役 西田 順一

【所在地】

本社 高知県高岡郡四万十町大正大奈路7-4

資材置場 高知県高岡郡四万十町西ノ川名本屋敷175-4

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 専務取締役 河上 芳夫

連絡先担当者 専務取締役 河上 芳夫

連絡先 TEL: 0880-27-1504

FAX: 0880-27-1574

E-mail: gouda2@shirt.ocn.ne.jp

【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業

建設業許可

許可番号 高知県知事 許可（般一27） 第2832号

許可年月日 令和2年5月19日から令和7年5月18日

建設業の種類 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、造園工事業、鋼構造物工事業、水道施設工事業、舗装工事業、管工事業、しゅんせつ工事業、解体工事業

【事業規模】

設立年月日 1976年 8月 24日

資本金 2,000万円

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
工事件数 (件)	17	21	21	23
売上高 (百万円)	144	238	134	202
従業員数 (名)	15	14	13	13
事業所敷地面積 (m ²)	163.2	163.2	163.2	163.2
事務所床面積 (m ²)	407.0	407.0	407.0	407.0
倉庫床面積 (m ²)	2190.0	2190.0	2190.0	2190.0

従業員数は、6月30日現在

会計年度 7月 ~ 6月

2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

有限会社 郷田組 全社

本社 高知県高岡郡四万十町大正大奈路7-4

（常駐者： 13名）

資材置場 高知県高岡郡四万十町西ノ川名本屋敷175-4

（常駐者： 0名）

対象事業： 建設業（土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業）

【レポートの対象期間】 2023年7月～2024年6月

【環境経営レポートの発行日】 2024年 8月1日

【次回環境経営レポートの発行日】2025年 8月頃

【作成責任者】 環境管理責任者 河上 芳夫

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲



SDGs NO.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を		高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに		環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に		水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も		高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう		低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう		下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

私たちは、日本最後の清流と言われる四万十川を、後世に引き継いでいくために四万十川条例を厳守し、限りある資源の有効利用及び、地球環境への負荷低減を図るために、積極的に環境に配慮した建設事業に取り組み、継続的改善による環境経営を推進していきます。

【環境経営方針】

1. 環境への取組を進めるため、以下の事項について全従業員で取組んでいきます

①電力使用量の削減及び、工事に伴う重機や車輛に使用する燃料を削減し、二酸化炭素量を削減します。

②一般廃棄物、産業廃棄物の削減及び、リサイクルの推進に努めます。

③水資源使用量の低減を図り、排水量の削減に努めます。

④環境に配慮した建設工事を行っています。

⑤グリーン購入を促進します。

⑥地域ボランティア活動への積極的参加を推進します。

2. 環境関連法規制及び条例を遵守します。

3. この環境経営方針は全従業員に周知し、環境経営活動レポートとして社外に公表します。

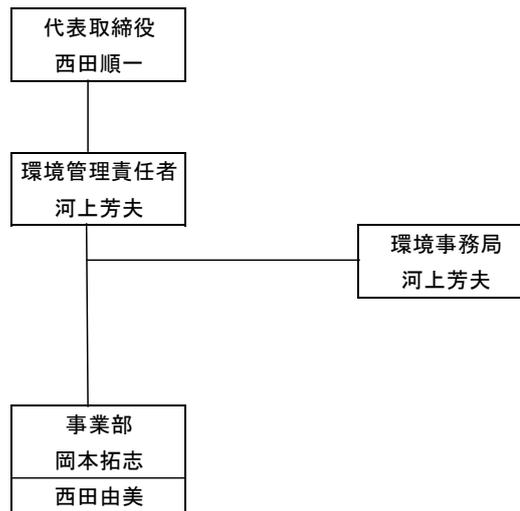
4. 上記の方針達成のため、目標を設定し、定期的に見直し環境経営システムを推進します。

2019年 9月20日

有限会社 郷田組

代表取締役 西田 順一

4. 環境管理組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・代表者による全体評価と見直し実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、E A 2 1 委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・自部門に関する環境経営計画の実施、達成状況報告 ・自部門に関する緊急事態訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

○環境美化活動についても、本年度は、ロードボランティア活動（10回）、近隣の清掃活動（1回）実施しております。



6. 環境経営目標

(1) 本年度目標

項目	単位	2022年度 実績値 (基準値)	2023年度 目標 (基準値-1%)
ガソリン使用量削減	(ℓ)	12,945	12,815
軽油使用量の削減	(ℓ)	17,397	17,223
灯油使用量の削減	(ℓ)	922	913
電力使用量の削減	(kWh)	8,974	8,884
CO ₂ 排出量の削減	(kg-CO ₂)	81,950	81,130
用水使用量の削減	(m ³)	55	55
一般廃棄物排出量の削減	(kg)	232	230
産業廃棄物排出量削減	(t)	82,622	81,796
産業廃棄物再資源化率	%	100	100
グリーン購入	%	11	11
環境負荷の少ない工事	%	100	100
環境美化活動	回	11	1

*1. 電力のCO₂排出係数は、電気事業者別の排出係数(平成30年度実績)令和2年2月27日

公表の四国電力(株)の調整後排出係数0.528kg-CO₂/kWhを使用した

*2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

*3. 環境負荷の少ない工事

- 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 型枠、工事看板への間伐材の使用
- 濁水防止対策の実施

(2) 中長期目標

	単位	2022年度 実績値 (基準値)	2023年度 目標 (基準値-1%)	2024年度 目標 (基準値-2%)	2025年度 目標 (基準値-3%)	2026年度 目標 (基準値-4%)
ガソリン使用量の削減	(ℓ)	12,945	12,815	12,686	12,557	12,427
軽油使用量の削減	(ℓ)	17,397	17,223	17,049	16,875	16,701
灯油使用量の削減	(ℓ)	922	913	904	894	885
電力使用量の削減	(kWh)	8,974	8,884	8,795	8,705	8,615
CO ₂ 排出量の削減	(kg-CO ₂)	81,950	81,130	80,311	79,491	78,672
用水使用量の削減	(m ³)	55	55	54	53	53
一般廃棄物排出量の削減	(kg)	232	230	227	225	223
産業廃棄物排出量削減	(t)	82,622	81,796	80,969	80,143	79,317
産業廃棄物再資源化率	%	100	100	100	100	100
グリーン購入	%	11	11	11	11	11
環境負荷の少ない工事	%	100	100	100	100	100
環境美化活動	回	11回	11回	11回	11回	11回

7. 環境経営計画 (2023年度)

期間： 2023年 7月 ～ 2024年 6月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○ 車・建設機械のアイドリングストップの推進	河上芳夫	2023.7-2024.6
		○ 車両のエコ運転の徹底	河上芳夫	2023.7-2024.6
		○ 低燃費車両の優先使用	河上芳夫	2023.7-2024.6
		○ 作業所通勤の便乗推進	河上芳夫	2023.7-2024.6
	電力使用量 削減	○ エアコンの温度設定 冷房28℃ 暖房18℃	市川隆	2023.7-2024.6
		○ 電燈の不要時の消灯	市川隆	2023.7-2024.6
		○ パソコン等のエコ設定	岡本拓志	2023.7-2024.6
		○照明をLEDに交換	河上芳夫	2023.7-2024.6
用水使用量削減 (排水量削減)	○ 日常節水の励行	西田由美	2023.7-2024.6	
	○ 使用後のコック閉鎖確認	出来篤弥	2023.7-2024.6	
廃棄物削減	一般廃棄物	○ ゴミの分別処理を徹底	岡本拓志	2023.7-2024.6
		○ コピー用紙の両面使用	岡本拓志	2023.7-2024.6
	産業廃棄物	○ 建設廃材のリサイクル使用	西田知也	2023.7-2024.6
		○ 木材端材を地域住民に燃料として配布	河上芳夫	2023.7-2024.6
グリーン購入	○ 最小限の資材調達 端材の抑制	西田知也	2023.7-2024.6	
	○ 再生紙の購入	西田由美	2023.7-2024.6	
	○ リサイクル商品の購入	西田由美	2023.7-2024.6	
	○再生資材の購入	工務担当者	2023.7-2024.6	
環境負荷の少ない工事	○濁水防止対策の実施	河上芳夫	2023.7-2024.6	
	○切土・盛土を最小限化	河上芳夫	2023.7-2024.6	
	○環境負荷の少ない材料を使用	西田知也	2023.7-2024.6	
	○低騒音・排出ガス対策型重機の使用	河上芳夫	2023.7-2024.6	
	○型枠工事看板への間伐材の使用	河上芳夫	2023.7-2024.6	

8. 環境経営目標の実績とその評価

2023年度実績

項目	単位	2022年 実績値 (基準値)	2023年 目標 (基準値-1%)	2023年 実績	実績値/ 目標値 (%)	評価
ガソリン使用量の削減	(ℓ)	12,945	12,815	12,814	99.98%	○
軽油使用量の削減	(ℓ)	17,397	17,223	19,324	112.2%	×
灯油使用量の削減	(ℓ)	922	913	796	87.2%	○
電力使用量の削減	(kWh)	8,974	8,884	8,618	97.0%	○
CO ₂ 排出量の削減	(kg-co ₂)	81,950	81,130	86,116	106.1%	×
用水使用量削減	(m ³)	55	55	60	110.1%	×
一般廃棄物排出量の削減	(kg)	232	230	226	98.4%	○
産業廃棄物排出量の削減	(kg)	82,622	81,796	166,030	203.0%	×
産業廃棄物再資源化率	%	100	100	98	98.0%	×
グリーン購入量	%	11	11	11	100.0%	○
環境負荷の少ない工事	%	100	100	100	100%	○
環境美化活動	回	11回	11回	11回	100%	○

*1. 電力のCO₂排出係数は、電気事業者別の排出係数（平成30年度実績）令和2年2月27日公表の四国電力(株)の調整後排出係数0.528kg-CO₂/kWhを使用した

*2. 環境経営目標値は小数点以下四捨五入

*3. 評価： 達成 ○ 未達成 ×

9. 環境経営目標・環境経営計画取組結果の評価、次年度の取組み内容

- ガソリン使用量は目標を達成した。
- 軽油使用量は省エネに努力したが工事量が増加し重機の使用が多く12.2%増加した
- 灯油使用量は約13%減少した。現場での使用が減少した。
- 電力使用量は3%減少した。
- CO₂排出量はガソリン使用量、電力使用量は達成したが軽油使用量の増加が影響し約6%増加した。現場の軽油使用量のCO₂排出割合は57.9%だった。現場の重機使用は工事内容により影響する。
- 用水使用量は10%増加した。節水に努める。
- 一般廃棄物排出量は42%は再資源化物で残りは焼却ゴミだった。目標達成した。
- 産業廃棄物排出量は道路改良工事等で増加し、90%はコンクリート塊、繊維くず、発生木材で再資源化されたが、混合廃棄物、廃プラが埋め立処分した。再資源化率は98%だった。
- グリーン購入及び環境美化活動も目標を達成した。
- 環境負荷の少ない工事の推進については、全件で達成できた。
- 次年度も継続して、全社員によるCO₂排出量削減及び目標達成に努める。

■次年度の取組み内容

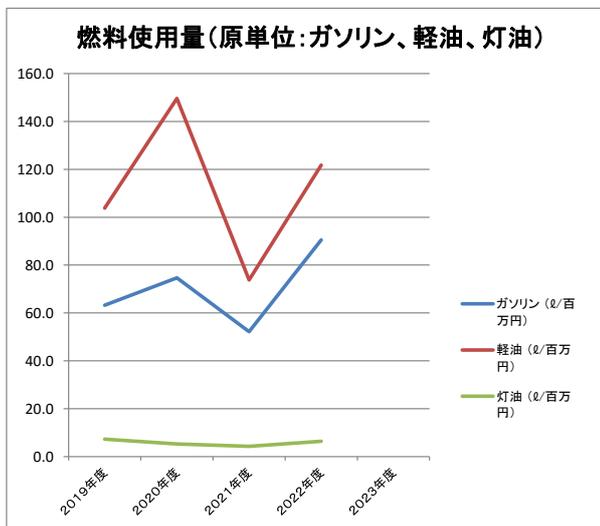
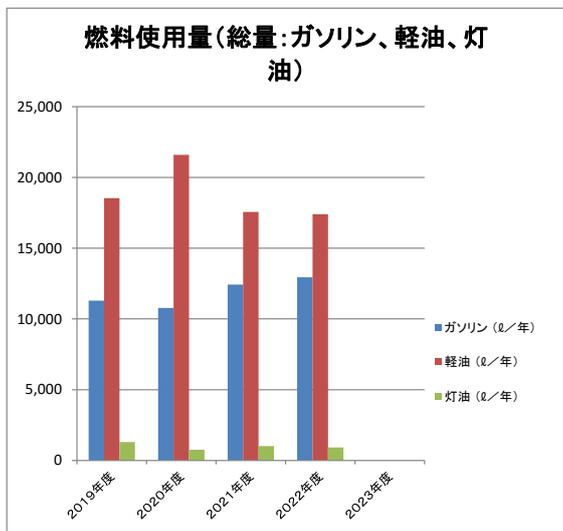
- ・次年度も継続して取り組む。

燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／年

年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)	灯油 (ℓ／年)
2019年度	11,287	18,537	1,300
2020年度	10,774	21,592	764
2021年度	12,429	17,567	1,012
2022年度	12,945	17,397	922
2023年度			

燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／百万円

年度	ガソリン (ℓ／百万円)	軽油 (ℓ／百万円)	灯油 (ℓ／百万円)
2019年度	63.2	103.8	7.3
2020年度	74.7	149.6	5.3
2021年度	52.2	73.8	4.3
2022年度	90.5	121.7	6.4
2023年度			

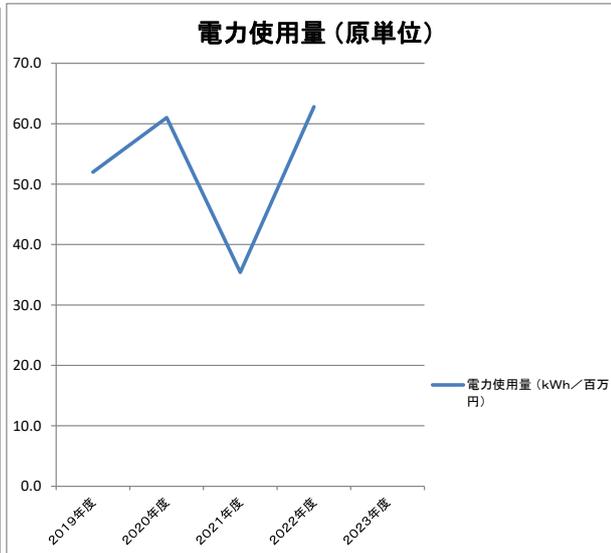
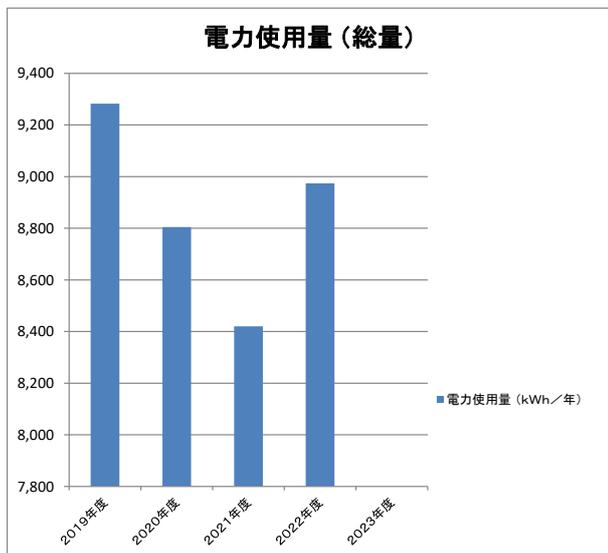


電力使用量（総量：kWh／年）

年度	電力使用量 (kWh／年)
2019年度	9,283
2020年度	8,805
2021年度	8,420
2022年度	8,974
2023年度	

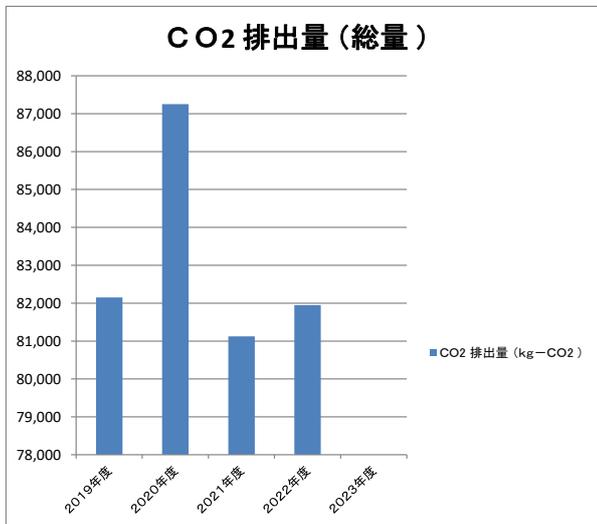
電力使用量（原単位：kWh／百万円）

年度	電力使用量 (kWh／百万円)
2019年度	52.0
2020年度	61.0
2021年度	35.4
2022年度	62.8
2023年度	



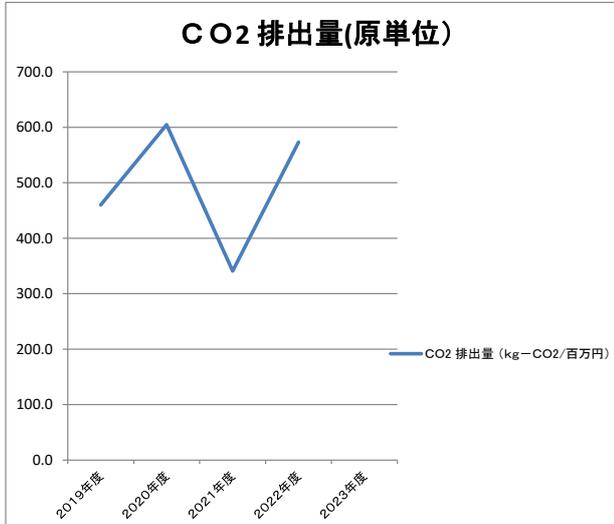
CO₂ 排出量 (総量 : (kg-CO₂))

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
2019年度	82,149
2020年度	87,254
2021年度	81,124
2022年度	81,950
2023年度	



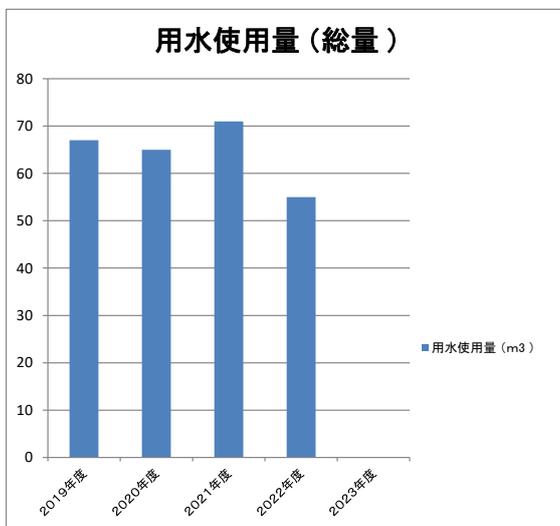
CO₂ 排出量 (原単位 : kg-CO₂/百万円)

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /百万円)
2019年度	460.2
2020年度	604.7
2021年度	340.9
2022年度	573.1
2023年度	



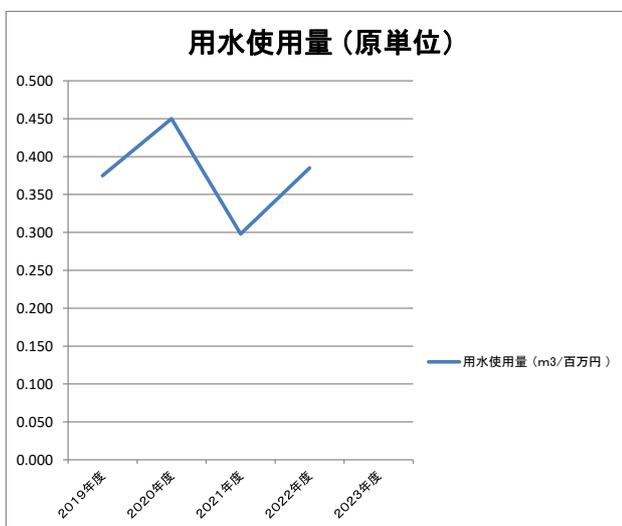
用水使用量 (総量 : m³)

年度	用水使用量 (m ³)
2019年度	67
2020年度	65
2021年度	71
2022年度	55
2023年度	



用水使用量 (原単位 : m³/百万円)

年度	用水使用量 (m ³ /百万円)
2019年度	0.375
2020年度	0.450
2021年度	0.298
2022年度	0.385
2023年度	



廃棄物排出量(総量:一般廃棄物、産業廃棄物)

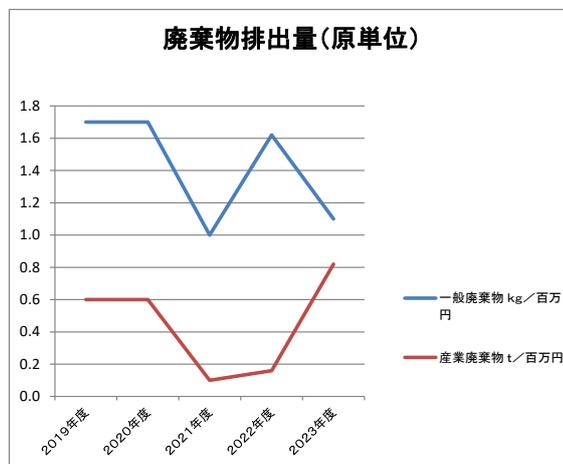
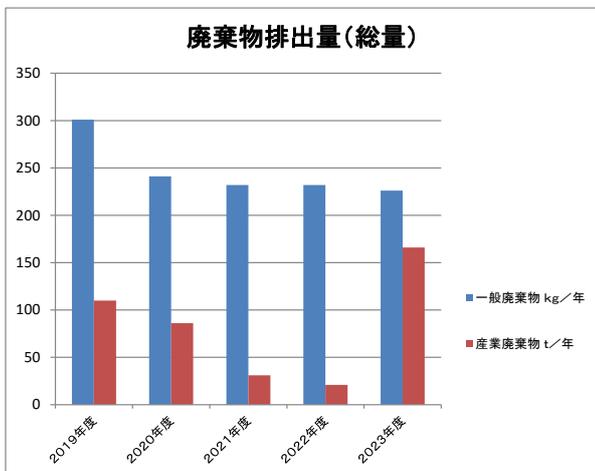
単位:一般廃棄物 kg/年
 単位:産業廃棄物 t/年

年度	一般廃棄物 kg/年	産業廃棄物 t/年
2019年度	301	110
2020年度	241	86
2021年度	232	31
2022年度	232	21
2023年度	226	166

廃棄物排出量(原単位:一般廃棄物、産業廃棄物)

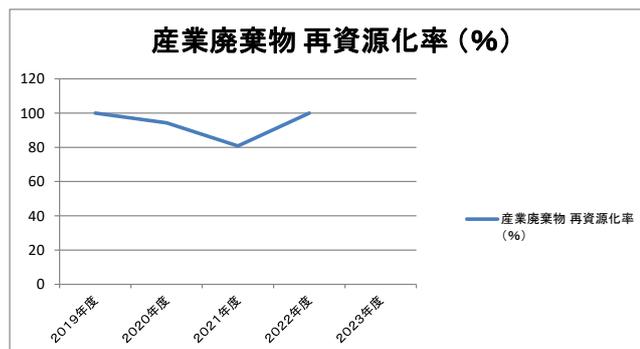
単位:一般廃棄物 kg/百万円
 単位:産業廃棄物 t/百万円

年度	一般廃棄物 kg/百万円	産業廃棄物 t/百万円
2019年度	1.7	0.6
2020年度	1.7	0.6
2021年度	1	0.1
2022年度	1.6	0.2
2023年度	1.1	0.8



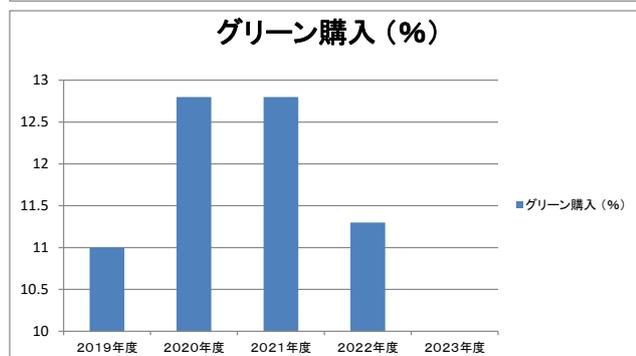
産業廃棄物再資源化率(%)

年度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
2019年度	100
2020年度	94.3
2021年度	80.8
2022年度	100
2023年度	



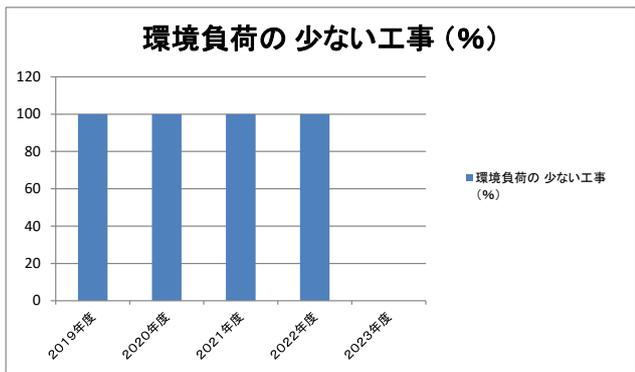
グリーン購入(%)

年度	グリーン購入 (%)
2019年度	11
2020年度	12.8
2021年度	12.8
2022年度	11.3
2023年度	



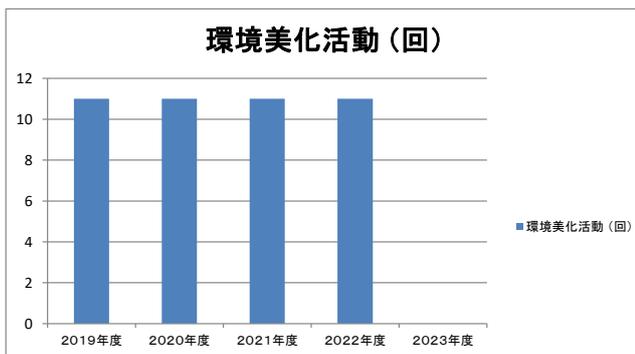
環境負荷の少ない工事(%)

年度	環境負荷の少ない工事 (%)
2019年度	100
2020年度	100
2021年度	100
2022年度	100
2023年度	



環境美化活動(回)

年度	環境美化活動 (回)
2019年度	11
2020年度	11
2021年度	11
2022年度	11
2023年度	



具体的な取組状況

1. CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減



車の相乗りの徹底

工事現場へ行く時は、必ず相乗りで現地に行き、社用車の燃料使用量削減に努めています。

(2) 電力使用量削減



本社事務所1階 LED照明設置

(2022年 10月設置 継続)

本社事務所1階部分の照明(4本)を蛍光灯からLEDに更新しました。

2. 用水使用量の削減



節水シール貼付

(2022年 8月設置 継続)

本社事務所内の水道蛇口(1ヶ所)に節水シールを貼付け、啓発を計っています。

3. 廃棄物の削減

(1) 一般廃棄物の削減



コピー用紙の裏紙使用、両面コピー

ミスコピー用紙は、裏紙として使用し、また両面コピーを実施することにより、年間でコピー用紙の使用量を削減しました。

4. グリーン購入



事務用品のエコマーク・グリーンマーク商品の優先購入

事務用品はエコマーク・グリーンマークの付いた商品を優先的に購入しています。

対象商品：ボールペン・テプラのテープカートリッジ等

5. 環境負荷の少ない工事



低騒音、排出ガス対策型重機の使用

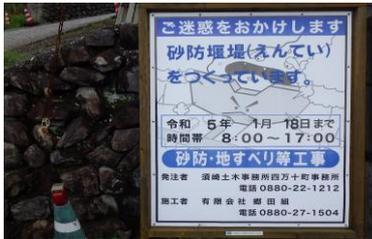
工事名称:城山谷川支川 通常砂防工事

工事期間:2022年3月26日 ~2024年3月24日

工事場所:高知県高岡郡四万十町田野々

低騒音、排出ガス対策型重機を工事で使用しました。

工事箇所周辺の騒音低減と、排出ガス量削減に努めています。



工事看板への高知県産間伐材の使用

工事名称:城山谷川支川 通常砂防工事

工事期間:2022年3月26日 ~2024年3月24日

工事場所:高知県高岡郡四万十町田野々

工事看板には、高知県産間伐材を使用し、環境負荷低減に努めました。

6. 環境美化活動



ロードボランティア活動

大奈路周辺及び国道439号線のロードボランティア活動を行い、道路の清掃活動を行いました。

(年10回実施)

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである。

遵守確認年月日：2024年7月20日

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約 マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守確認
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届け出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守確認
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用、再生資源利用計画書 実施記録の作成	遵守確認
大気汚染防止法	特定粉じん排出作業の実施届出、作業基準の遵守	該当なし。
騒音規制法、条例	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	該当なし。
振動規制法、条例	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	該当なし。
浄化槽法	法11条検査、保守点検	遵守確認
高知県環境基本条例	環境基本条例	遵守確認
四万十町四万十川の保全及び流域の振興に関する基本条例	清流の保全、水生動植物の生息・生育保全、河岸の天然林保全及び良好な景観維持、人工林の適正管理、天然林のとの多様な森林形成	遵守確認
消防法、条例	消火器の点検	遵守確認
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の点検と記録・同保存(3年)、漏洩防止 廃棄時の適切な処理	遵守確認

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。

なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情、関係当局より違反等の指摘も過去3年間ありませんでした。

11. 代表者による全体の評価と見直しの結果

実施年月日：2024年7月20日

<p>1 環境経営方針 変更の必要ない 今後も引き続き、環境経営方針に沿った活動を積極的に実施し、目標達成に努めること。</p> <p>2 環境関連法規等一覧表兼環境関連法規遵守記録簿 毎年度末に、遵守状況を確認するとともに、改正情報を確認すること。</p> <p>3 環境経営目標及び環境経営計画 本年度当初見直し改訂した。今後も年度初めに、必ず見直しすること。</p> <p>4 実施体制 環境事務局は当面、専務取締役 河上芳夫が兼務する。</p> <p>5. その他 環境経営目標及び環境経営計画について、当社にとって何が適切か、何をすべきか全員で検討すること。</p>
--